

©2018映画「坂道のアポロン」製作委員会 ©2008小玉ユキ子/小学館

3月10日から公開！
映画「坂道のアポロン」

11月10日、佐世保市で、映画「坂道のアポロン」の公開式が行われ、朝長市長をはじめ、関係者約100人が参加しました。朝長市長は、この映画が、佐世保市の魅力を全国に発信するきっかけになると期待を込めて、祝辞を述べられました。

この映画は、佐世保市を舞台に、地元の人々の生活や文化を描いた作品です。映画の公開を機に、佐世保市の観光や文化の活性化が期待されています。

映画「坂道のアポロン」の公式サイトは、[こちら](#)からどうぞ！

主なる内ロケ地
佐世保北高校、龜山八幡宮、坂道（峠坂、八幡坂）、白浜海水浴場、漢子教会、黒島天主堂、外国人パーラー、観音岩、聖和女子学院、旧花園中学校、早稲中学校、展海峰、石居展望台など

最も人を動かし、まちの観光を活性化させた作品 坂道のアポロンが優秀賞を受賞！

- グランプリ** 連続テレビ小説「半分、青い。」×岐阜県 897ポイント
- 準グランプリ** 映画「万引き家族」×千葉県いすみ市 863ポイント
- 優秀賞** 大河ドラマ「西郷どん」×鹿児島県 851ポイント
- 優秀賞** 映画「坂道のアポロン」×佐世保市 849ポイント

平均視聴率が20%を超えたNHKの連続テレビ小説「半分、青い。」カンヌ国際映画祭で最高賞のパルムドールを受賞した映画「万引き家族」圧倒的な知名度と人気を誇るNHKの大河ドラマ「西郷どん」そして、佐世保を舞台にした映画「坂道のアポロン」皆さんはこれが何のランキングがご存知ですか。これは1年間に最も人を動かし、まちの観光を活性化させた作品と自治体に贈られる「第9回ロケーションジャパン大賞」のランキングなんです。雑誌「ロケーションジャパン」が毎年選定しているもので、今回は平成29年12月1日から30年12月2日に公開、放送された映画・ドラマ・アニメ作品の中から、約8,000人が「ロケ地が印象的だった」「行ってみたいくなった」など感じたものを投票し、有識者が「地域の変化」「支持率」「撮影サポート度」「行楽度」の観点で審査を行い、1,000点満点でランク付けされました。「坂道のアポロン」は「行きたいまちとして一般層から絶大な人気を見せた」などと評され、総合点で3位に2ポイント差に迫る4位となり、優秀賞(支持率部門)を受賞しました。応援していただいた皆さん、ありがとうございました。

※大河ドラマ「西郷どん」は優秀賞(地域の変化部門)を受賞しました。

☎ 観光課 ☎ 24-1111

全編宇久島ロケを敢行！ 「しらあいの赦」上映会



長崎県立大学映画研究会が制作した宇久島が舞台の映画です。大学生による手作りの映画をどうぞご覧ください。

日 程 3月21日(木・祝)
13時30分～15時30分

場 所 アルカス SASEBO

料 金 当日券 1,000円

※前売券(800円)のご予約や映画に関する問い合わせはお手数ですが下記アドレスにメールでご連絡ください。

✉ seacat.sun@gmail.com

「西九州させば広域都市圏」連携協約締結式 個性を尊重し豊かで実りある未来を築くために



1 中心市の市長としてあいさつする朝長市長 2 「連携協約書」を手にする 11 市町の首長の皆さん 3 構成自治体を代表してあいさつする深浦弘信伊万里市長(左)と黒田成彦平戸市長(右) 4 西九州させば広域都市圏のロゴマーク

1月12日、本市は国が提唱する「連携中枢都市圏構想」に基づき、「西九州させば広域都市圏」の連携協約締結式を体育文化館で行いました。式典には関係する全11市町の首長などが出席し、三科公孝氏(ノウハウバンク代表取締役)による基調講演や公募していた都市圏ロゴマークの最優秀作品のお披露目などを行いました。観光や農水産業などの44事業について、近隣の10市町とともに4月から取り組んでいく予定です。

市長あいさつ(抜粋・要約)

本日、新しい広域連携の枠組みとなる「西九州させば広域都市圏」の連携協約を11市町によって締結しました。この連携協約は圏域全体の活力を維持するため、連携中枢都市圏構想の考え方である「圏域全体の経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の分野において、より効果の高い事業を中心に連携するものです。このことは大変大きな意義を持つものであり、西九州させば広域都市圏の形成に向けて確かな一歩を踏み出したものと思います。

現在、全国的に人口減少や少子高齢化が進行しており、特に地方では、地域経済の活力低下や地域社会の衰退、

社会保障費の増大、行政サービスの安定的な提供などが大きな課題になっており、解決に向けた取り組みが各自治体に求められています。

このような課題に対して重要なことは、行政区域の枠を超えて社会的、経済的に関係性のある自治体が横のつながりを築き、さまざまな分野において、行政サービスや都市機能を有効に活用しながら、地域の社会・経済を支えていくことであると思います。このような連携中枢都市圏制度の考えに各自治体にご理解をいただいて本日協約を締結することができました。

本市では、昨年9月の「連携中枢都市宣言」において表明しましたとおり、各市町の個性を尊重しつつ、圏域の豊かで実りある未来と一体的共生社会を築くため、「多様性」と「創造・挑戦・進取」の精神をもって、中心市として力を尽くしていくこととしています。

今後は具体的な取り組みを推進していくための計画書となる「都市圏ビジョン」を策定することになりますが、引き続き関係する皆さまにご協力をいただきながら、地域経済の活性化や地域に人を滞留させていく取り組みを進めていきたいと思います。

1月12日 佐世保市長 朝長 則男

「西九州させば広域都市圏」構成市町
佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、佐賀県伊万里市、有田町